

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 07-124014

(43)Date of publication of application : 16.05.1995

(51)Int.Cl.

A45C 13/30
G03B 17/56

(21)Application number : 05-272114

(71)Applicant : CANON INC

(22)Date of filing : 29.10.1993

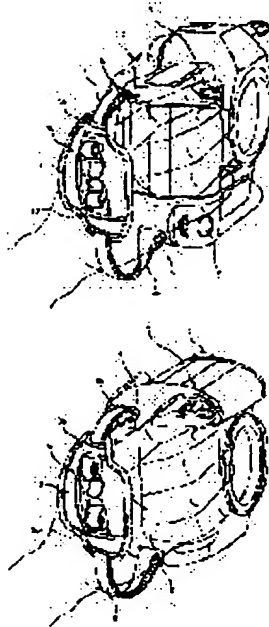
(72)Inventor : MIYAKE MITSURU

(54) HAND STRIP

(57)Abstract:

PURPOSE: To easily change the setting position of a hand strap to a position suitable for vertical or horizontal camera position and improve the operability by diagonally providing at least two cut in a back member.

CONSTITUTION: A first cut 1a and a second cut 1b are diagonally arranged and made on a back member 1. A strap member 2 is attached after twisted at a twisting position 2a. The first cut 1a is located so that a horizontal position shutter release button 8 cant be easily manipulated with an index finger and the second cut is arranged so as to allow a photographer to easily manipulate a vertical position shutter release button 7 with the index finger. To change the setting position of a hand strap to a position for vertical camera position, the strap member 2 is taken off from a first fastening member 3a and a second strap setting part 5, twisted again, put through a third strap setting part 6, and then fastened by the first fastening member 3a again.



BEST AVAILABLE COPY

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開株許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平7-124014

(43)公開日 平成7年(1995)5月18日

(51) Int. Cl. ⁶	識別記号	内蔵型番号	P I	技術表示箇所
A 4 5 C	13/30	N		
G 0 3 B	17/56	D	7256-2K	

(21)出願番号 特願平5-272114

(22) 出願日 平成5年(1993)10月29日

(71)出國人 0000001007

キヤノン株式会社

東京都大田区下丸子3丁目30番2号

(72) 黎明者 三年 九月

東京都大田区下丸子3丁目30番2号キヤノ

区社会科

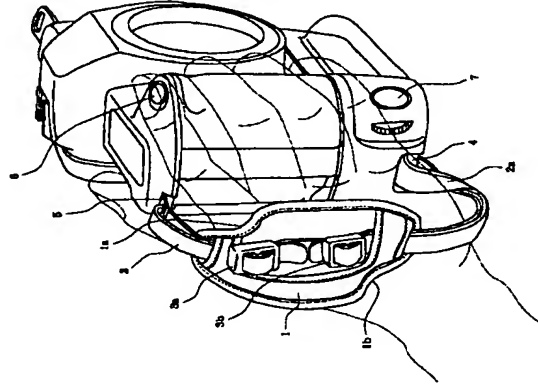
(74)代理人 伊理士 丸島 健一

(54)【発明の名称】 ハンドストラップ

(57) 【要約】

【目的】 カメラの撮位置状態および撮位置状態などに応じてハンドストラップの取付け位置の変更が容易に行えるハンドストラップを提供する。

【構成】 甲当て部材とストラップ部材を有するハンドストラップにおいて、甲当て部材における該ストラップ部材に亘交する線に対称な位置の近傍もしくは甲当て部材の対角方向に少なくとも2ヶ所の切り欠き部を設けた。



PLEASE AVAILABLE ON

(2)

【特許請求の範囲】

【請求項1】 甲当て部材とストラップ部材を有するハ
ンドストラップにおいて、

前記甲當て部材の対角方向に少なくとも2ヶ所の切り欠き部を設けたことを特徴とするハンドストラップ。

【請求項2】 甲当て部材とストラップ部材を有するハ
ンドストラップにおいて、

前記甲当て部材における該ストラップ部材に直交する線に、少くとも2ヶ所の切り欠き点を、対称な位置の近傍に、少くとも2ヶ所の特設とするバンドストラップ。

【卒明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明は特にカメラなどに用られるハンドストラップに関するものである。

[0002]

【従来の技術】従来のハンドストラップのカメラへの取り付け位置、傾位置のつけ換えはカメラのストラップ取付け部からストラップおよび甲当ての両端取付け部を全て外し、甲当ての裏面共、リリースボタンの操作性を向上させるために設けてある切り欠き部が正しい位置に来るように取付け直さなければならなかった。

[0003]

【発明が解決しようとしている課題】従来例では甲当ておよびストラップをカメラから完全に取外さなければならぬ。ストラップをカメラの取付位置に取付けた場合、取付位置に取付けたカメラの位置がずれ、傾きが生じ、傾きが生じた状態で撮影が行われる。従って、傾きが生じた状態で撮影が行われるのを防止する必要がある。本発明は、傾きが生じた状態で撮影が行われるのを防止するものである。

【0004】本発明はこのような問題点に鑑み、ハンドストラップをカメラから完全に取外すことなく、カメラの取付け位置および傾位置状態などに合わせたハンドストラップの取付け位置の変更が容易に行え、且つ操作性性の向上を計ったハンドストラップを提供するものである。

[0005]

【課題を解決するための手段】本発明によれば、ハンドストラップの甲当て部材に対角方向もしくはストラップ部材に直交する線におおね位置の近傍に、少なくとも2も2も部材に取付け位置状態を変えがストラップ部材をカメラ部材から完全に取り外すことなく、容易に行えるようにしたものである。

100061

【実施例】図１および図２は本発明の第１の実施例を示す図である。図１において、 1 は当定部材で、第１の切り欠き部 $1a$ と第１の切り欠き部 $1a$ の対角方向に第２の切り欠き部 $1b$ を有する。 2 はストラップ部材で、第３の位置 $2a$ でねじり付けられている。 3 はストラップ部材 2 を所定の長さで固定する第１の固定部材で、 $3b$ はストラップ部材 2 を所定の長さで固定する第

2の固定部材である。4はカメラ本体に設けられた第1のストラップ取付け部、5はカメラ本体に設けられた第2のストラップ取付け部である。図2において、6はカメラ本体に設けられた第3のストラップ取付け部である。7はカメラを縦位置にしたときの縦位置用リリースボタン、8はカメラを横位置にしたときの横位置用リリースボタンである。

【0007】図1はカメラを操作部で使用する状態を示す図で、ストラップ部材2は第1のストラップ取付け部4に半回ねじられて取付けられ、第2の固定部材で所定の長さで固定されている。第1の切り欠き部1aは撮影者の人差し指が操作部用レリーズボタン8を操作する際に手当て部材1が操作の妨げにならないようにするためのものである。

【0008】図2はカメラを縦位置で使用する状態を示す図で、第2の切り欠き部1bは、撮影者の人差し指が縦位置用リリースボタン7を操作しやすいように切り欠いてある。

【0009】図1に示される状態から図2に示される状態にするために、ストラップ部材を第1の固定部材3aからはずして、その後第2のストラップ取付け部5方向からはずす。そして、ねじり位置2aのねじりを直す方向からストラップ部材2を回転させ、ストラップ部材2の3つのストラップ取付け部6に通し後、第1の固定部材3aと再びストラップ部材2を固定する。図2のねじり位置2aにおいてねじられて取付けられていたリテーニングボタン7を操作する差し指の動きを妨げるため、図1のねじり位置状態のときにストラップ部材2はねじり位置2aにおいてねじられて取付けられてい

【0010】図3、図4および図5は本発明の第2の実施例を示す図で、図3はカメラを傾位置で使用している状態を表わし、また図4はカメラを縦位置で使用している状態を表し、さらに図5は第2の実施例の特徵的構成を説明する図である。

【0011】図3および図4において、1は甲当て部材でストラップ部材に直交する線に対称位置の近傍に第1の切欠き11aおよび第2の切欠き11bを有する。12はストラップ部材である。なお、図1および図2と同一の構成に関しては同一番号を用いて説明を省略する。図3において13は着脱自在のフラスナーのルーブ側で14は着脱自在のフラスナーフック側、共に甲当て部材11の内側に形成されている。15はストラップ部材12の先端部に取付けられた着脱自在のフラスナールーブ側1側で、甲当て部材11の内側のフラスナールーブ側3とフック側4の間にはさみ込まれることでストラップ部材12は甲当て部材11に対して固定される。

【0012】図3の状態から図4の状態にするためには、図2に示されるように甲当て部材11のフラスナー13、14をさし入れ、図3においてストラップ部材12

(3)

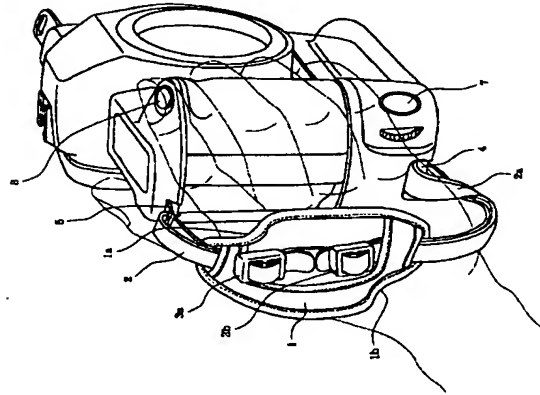
の撮影者の人差し指側の端部をファスナーフック側14からはがして、その後第2のストラップ取付け部5からはずし、ストラップ部材12をねじることなく第3のストラップ取付け部6に通し、再び甲当て部材11の内側のファスナーフック側13とフック側14の間にはさみ込み、ストラップ部材12を固定する。甲当て部材11は表裏が同一で且つ固定部材によって表裏が指定されない構造であるために、ストラップ部材12をねじって取付ける必要がない。

【0013】

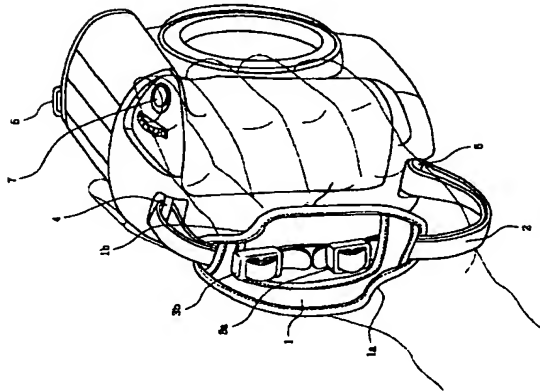
【発明の効果】以上説明したように、本発明によればハンドストラップの甲当て部材に、対角方向もしくはストラップ部材に直交する様に対称な位置の近傍に少なくとも2ヶ所の切り欠き部を設けたことよって、カメラの縦位置状態および横位置状態などの使用状態に合わせたハンドストラップの取付け位置変更がストラップ部材を2ヶ所のカメラのストラップ取付け部から取外すことなく、又、ストラップを取外したとしても、1ヶ所のストラップ取付け部だけで済むため、容易に行うことができ、且つ甲当て部材に設けられた切り欠き部がハンドストラップの取付け位置を変更したとしても、例えばカメラに取付ける際には、リリースボタンを操作する撮影者の人差し指の位置にあるために撮影者のリリースボタン操作を妨げることなくカメラの安定的なホールドディングを可能にする。

【図面の簡単な説明】

【図1】

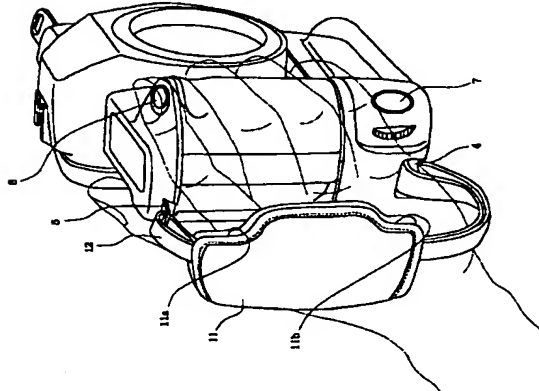


【図2】

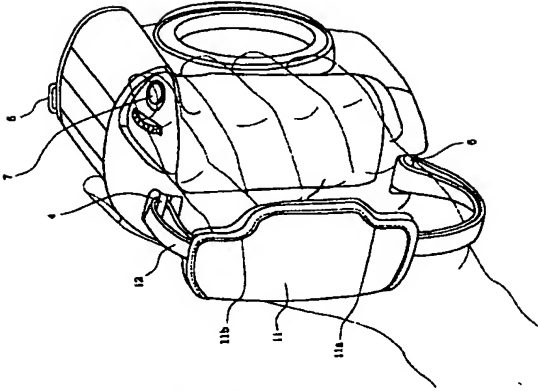


(4)

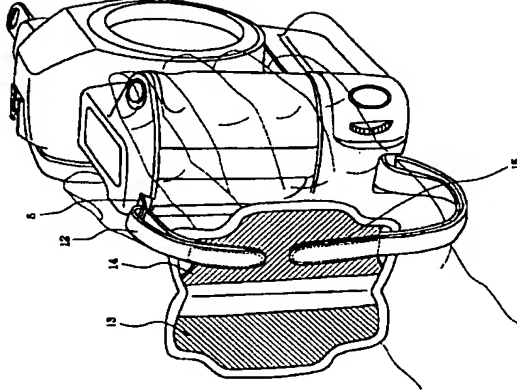
【図3】



【図4】



【図5】



BEST AVAILABLE COPY